**ハンドマイク街頭演説原稿例　　ワクチン接種・総務省違法接待**

　　二〇二一年二月二七日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、医療従事者への新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。政府による情報発信が不十分ななか、国民のなかにワクチンへの期待とともに不安の声も少なくありません。高齢者への接種開始が後ろにずれ込むなど、今後の見通しも不透明です。コロナワクチンの接種について、日本共産党は、何よりもワクチンの安全性や有効性、副反応などのリスクについて、迅速かつ徹底的な情報公開を求めていきます。そのうえで、とりわけ重要なことは、コロナ対策を「ワクチン頼み」とするのではなく、新規感染者が減ってきたいまこそ、検査によってコロナ感染を抑え込む体制を強めることです。日本共産党は、無症状者を含めた検査の抜本的な拡充、医療機関への減収補てん、十分な補償など、感染対策の基本的取り組みを、同時並行でしっかり行うことを政府に強く要望します。さらに、ワクチン接種の実務を担う自治体への支援とともに、医療体制の確保が最大の課題となっています。そのためには、地域の医療機関の全体に対する減収補てんが今こそ必要です。医療従事者への思い切った待遇改善で７０万人といわれる潜在的看護師の方々にも協力を呼びかけることが必要です。日本共産党は、ワクチン接種と感染対策の基本的取り組みを同時並行で実施するよう力を尽くしていきます。

　みなさん、連日、報道されているように、総務省幹部の接待問題はいよいよ深刻な事態となっています。総務省の報告では、１２人の幹部職員が５年間でのべ３８回もの高額接待を東北新社から受けていたことが明らかにされました。しかも、その半数以上に菅首相の長男が同席しています。国会では、野党議員らが真相について何度も追及しました。しかし、東北新社がどのような目的をもって接待したのか、なぜ総務省の幹部が東北新社の接待に応じたのか、放送行政が本当にゆがめられなかったのか。この３つの問題については、まったく明らかになっていません。これらを明らかにするためには、菅首相の長男を含む東北新社の関係者と総務省幹部を国会に招致し、集中的な審議をすることがどうしても必要です。菅首相は、長男を総務大臣秘書官に据え、東北新社と引き合わせるなど今回の問題についての政治的責任は極めて重大です。日本共産党は、高額接待をうけた内閣広報官の辞任とともに、総務省幹部の違法接待について、菅首相の責任で真相解明するよう強く求めていきます。

　みなさん、東京電力福島第一原発事故からまもなく１０年になります。福島県の旧避難地域では、被災者のくらしと地域コミュニティーがずたずたに壊され、住民の孤立や貧困が深刻になっています。国の被災者切り捨てが進むなか、いまなお復興には程遠い状況です。日本共産党は、被災地の復興と生業（なりわい）の再建にむけ、国が責任もって支援を強化・継続するよう引き続き求めていきます。

最後に、スクープ連発の「しんぶん赤旗」が、いまメディアでも広く注目されています。この機会に「しんぶん赤旗」をぜひご購読いただきますようお願いしまして、この場所をお借りしてのうったえを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）